

ChibaTechNews

No_699

2025年10月号

千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016

千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344



彬子女王殿下のご臨席を仰ぎ、記念行事を開催

— トルコ共和国シャンルウルフア県アヤンラル・ホユック遺跡にて新発掘調査を開始 —



メフメット・ヌリ・エルソイ 文化観光大臣と彬子女王殿下による鍬入れ式

9月19日(金)、千葉工業大学全面協力のもと行われる新たな発掘調査の開始が、トルコ共和国シャンルウルフア県に位置するアヤンラル・ホユック遺跡※1において公式に発表され、その幕開けを飾る鍬入れ式が行われた。

本調査は、トルコ文化観光省が進める大規模発掘プロジェクト「タシュ・テペレル」※2の一環として位置づけられており、約1万2千年前、農耕牧畜の成立を目前とする人類史の転換期に焦点を当てるものである。文化変化・技術革新・地球環境の変動の関わりを解明する上で極めて重要な地域であり、世界遺産ギョベクリテペ遺跡に代表されるように、狩猟採集民による巨石文化が展開した地でもある。

発掘調査は本学とアナトリア考古学研究所との共同で実施され、日本は人類史上最も重要な考古学地域の一つにおいて、新石器時代研究の最前線に立

つこととなった。

本学とトルコとの学術的なつながりは、故松井孝典前学長(当時・惑星探査研究センター長)が中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所との共同研究に携わったことに始まる。同研究所は、彬子女王殿下の祖父・三笠宮崇仁親王殿下が設立を発意され、父・寛仁親王殿下が建設に尽力された由緒ある研究機関である。松井前学長は、アナトリア地域のカマン・カレホユック遺跡の発掘・研究を通じて同研究所との交流を深め、その過程で三笠宮家とのご縁を賜った。

2018年9月、彬子女王殿下の三笠宮記念財団総裁ご就任を祝う式典に瀬戸熊修理事長とともに出席した際、アナトリア考古学研究所の故大村幸弘所長の紹介により彬子女王殿下への初めての拝謁。これを契機に学術的な交流がさらに深まっ

た。以来、彬子女王殿下には本学特別教授および主席研究員として本学の学生に幅広い知識と教養をご教授いただき、本学における教育・研究活動における功績に対し、昨年10月29日、本学初の名誉博士の称号を贈呈。今回の訪問および鍬入れ式は、こうした長年にわたる学術交流の積み重ねの上に実現した。

彬子女王殿下 ご臨席のもと、 鍬入れ式を挙行

9月19日午後、アヤンラル・ホユック遺跡にて鍬入れ式が執り行われ、彬子女王殿下とともに、メフメット・ヌリ・エルソイトルコ共和国文化観光大臣が鍬入れを行った。彬子女王殿下が使用された鍬

は、祖父・三笠宮崇仁親王殿下がアナトリア考古学研究所によるカマン・カレホユック遺跡での鍬入れ式で使用されたものである。本学からは瀬戸熊修理事長、伊藤穰一学長、染谷明人常務理事、横井裕審議役(元駐トルコ大使)、福江聡法人事務局長の5名が出席し、さらに地球学研究センターの多田賢弘、下釜和也、佐竹渉研究員ら、センター所属の研究員たちも同行し、当日は多くのメディア関係者が取材に訪れ、トルコ国内のニュースで広く報じられるとともに、彬子女王殿下のご臨席とトルコでのご活躍の様子は、日本の報道機関でも紹介され、大きな注目を集めた。(2面へ続く)

※1 アヤンラル・ホユック遺跡…ユーフラテス川上流域、トルコ共和国南東部シャンルウルフア市から北西に約20キロメートルに位置する遺跡。ギョベクリテペ文化の誕生から衰退までを跡付けられる可能性があるとして、トルコ文化観光省から大きな期待が寄せられている。

※2 大規模発掘プロジェクト「タシュ・テペレル」…トルコ共和国文化観光省が主宰する大規模研究プロジェクトの一つで、遺跡の考古学的調査研究、文化遺産研究、古環境調査、民族考古学的研究などから新石器文化の解明を目指す。通称「タシュ・テペレル(石の丘)」は、シャンルウルフア県に所在するギョベクリテペ文化関連の新石器時代集落遺跡約10箇所を対象としている。



左から伊藤学長、瀬戸熊修理事長、彬子女王殿下、西秋良宏氏(東京大学教授)と横井審議役

[CONTENT]

【P2】古田所長、国内最大級のAI・ロボティクス国際会議で講演

【P3】台湾・国立成功大学との国際デザインワークショップを御宿・津田沼で実施／工作と実験で交流CIT

CRAFT新習志野で開催

【P4】大浦さん「最優秀賞」受賞／立崎さん「優秀ポスター賞」受賞／柴原さん「優秀賞」受賞／藤野さん「FIT奨励賞」受賞／山本さん「FIT奨励賞」受

賞／岡田さん「奨励賞」受賞／武田さん「学生優秀発表賞」受賞／新谷幸弘教授「優秀記事コラム賞」受賞

【P5】飯田研究室の技術、音響XR実証実験に採用／就職・進路支援便り

【P6】新習志野キャンパスで寮祭「Mix」開催／実験動物慰霊祭を実施／9月のできごと／11月のスケジュール／お詫びと訂正

(1面から続く)

レセプションで 交わされた感謝と決意

同日夜、ダブルツリー バイ
ヒルトン シャンルウルファ
ホテルにて、千葉工業大学主催
のレセプションが開催された。
彬子女王殿下をはじめ、メフ
メット・ヌリ・エルソイ文化観
光大臣、シャンルウルファ県
知事、勝亦日本国大使、シャ
ンルウルファ市長など、多くの
来賓がご臨席された。



伊藤学長による挨拶

冒頭、伊藤穰一学長が挨拶
に立ち、「千葉工業大学は
“世界文化に技術で貢献する”
という建学の精神のもと、今
後も科学技術と考古学を通

じてトルコの発展に寄与して
いく。本日こうして彬子女王
殿下にご臨席賜り、この記念
すべき式典とレセプションを
開催できることを心より光栄
に思う」と述べた(学長挨拶
全文はwebにて公開)。

ハルベトスワン・ テペシ遺跡ご視察と 発掘ハウス調印式

翌20日午前には、本学が発
掘を進めているハルベトスワ
ン・テペシ遺跡※3をご視察さ
れた。研究員が発掘の取り
組みや成果、将来展望につ
いて説明し、彬子女王殿下か
らは多くのご質問を賜った。



彬子女王殿下にご説明する下釜研究員



調印式

午後には、本プロジェクトの
拠点となる発掘ハウスの鍵の
受け渡しと調印式が行われ、
彬子女王殿下により記念看板
の設置が行われた。発掘ハウ
スは、調査期間中の滞在拠点
であるとともに、出土遺物の保
管や分析を行う施設である。

これら一連の行事
は、本プロジェクトの力
強い第一歩を印象づ
けるものであり、今後
の活動を大きく後押し
するものとなった。

※3 ハルベトスワン・テペシ遺跡…トルコ共和国南シャンルウルファ市から南東に約44キロメートル、石灰岩丘陵の頂に立地する遺跡。2022年より千葉工業大学地球学研究センター、東京大学総合研究博物館、シャンルウルファ考古学博物館が中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所の協力のもと共同発掘を実施している。



看板の設置をされる彬子女王殿下

詳細は
コチラ



古田所長、国内最大級のAI・ロボティクス国際会議で講演



プログラム第1部にて講演する古田所長

9月25日(木)、GMOイン
ターネットグループ主催による
「AI・ロボティクス大会議&
表彰式2025」が都内で開催
され、政府関係者や産業界、
学術界から多数の登壇者が
集まった。本大会は「産官学
一体で挑む!日本をAI・ロボ
ティクス大国へ!!」をテーマ
に、社会実装・人材育成・イン
フラ整備などの課題を議論し、
日本が国際競争の中で再

び強みを発揮することを目的
としている。

海外ではヒト型ロボットの
競技大会や空飛ぶクルマ、ド
ローン分野での開発が急速
に進む一方、日本は技術力や
産業展開の面で後れを取っ
ている現状がある。こうした課
題を乗り越えるため、国内外
のトップランナーが集い、日本
のAI・ロボティクスの未来像
を描くことが狙いだ。

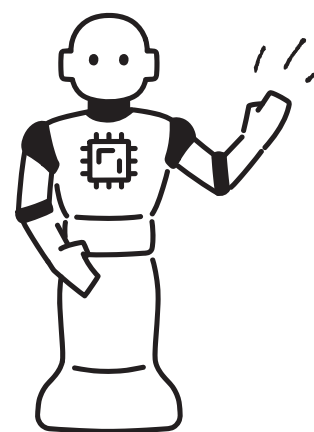
本学からは未来ロボット技
術研究センターの古田貴之
所長が登壇し、「フィジカル
AIが拓く未来」と題して講演
を行った。講演では、これま
でのロボット研究を振り返り
つつ、「技術は研究室にとど
まるのではなく、社会に実装
されてこそ価値を持つ」と強
調した。

同研究センターが開発した
CanguRo(カンゲーロ)や
鉄道ホームドア用センサ、家
庭用ロボット掃除機など、産
業や生活に貢献してきた事
例も紹介された。また、4脚ロ
ボットを仮想空間で育成し、
段差や階段を事前に認識
せずとも適応して進む実演
を通じ、古田所長は「リアル
ワールドでの適応こそが社
会実装に不可欠である」と述
べた。さらに「AIにボディを
与える=フィジカルAI」とい
う概念を提示し、メカとAIの
融合が拓く新たなロボティク
スの可能性を示した。

講演の最後には、「研究成
果を社会に届け、日本がピン
チをチャンスに変えるため
に、一緒に挑戦してほしい」と
聴衆に力強く呼びかけ締めく
くった。

AI・ロボティクス大会議終
了後には表彰式が行われ、
平将明氏(デジタル大臣・サイ
バー安全保障担当大臣・当時)
とともに古田所長がゲスト審
査員を務めた。

アーカイブ
動画はコチラ



台湾・国立成功大学との国際デザインワークショップを 御宿・津田沼で実施

詳細は
コチラ ▶▶▶



活発な討論が展開されたワークショップの様子

デザイン科学科の稲坂晃義准教授と学生たちは8月、台湾・国立成功大学(台南市)から来日した学生とともに、御宿研修センターや津田沼キャンパスで国際デザインワークショップを実施した。

本学は今年3月、同大学と学問振興および学術的協力を目的とした包括連携協定と学生交換プログラムに関する覚書を締結しており、今回の

取り組みはその第一歩となるもの。

2025年度のワークショップは、国立研究開発法人「科学技術振興機構(JST)」の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム」に採択され、国立成功大学から学生8名と引率教員1名を招聘。本学からは稲坂准教授と学生11名が参加し、8月24日から30日まで

御宿と津田沼を拠点に活動した。

テーマは、デジタルとフィジカルが融合した新しい観光の形「フィジカル・ツーリズム」。学生たちは御宿や東京の観光地を訪れ、地域の特性を生かした新しい仕組みやサービスを検討した。4つのグループに分かれ、御宿の音環境を生かした「音の地図」や、砂浜を快適に利用できるビーチパビリオンの設置など、創造的な提案を発表した。

参加した学生は「互いの得意分野を生かし、御宿の魅力を伝える方法を考える貴重な機会になった」「言語や文化の違いを越えて協力し合えた」と振り返る。

稲坂准教授は「異文化理解と交流を通じ、柔軟な視野を持つデザイン学生の育成を目指したい」と語り、今後も国立成功大学との連携を深めていく考えを示した。



研究室にてインタビューを受ける稲坂准教授と学生たち

工作と実験で交流 CIT CRAFTを新習志野で開催



終始賑やかな雰囲気に包まれた会場

8月3日(日)、学友会執行委員会福祉部(部長:坂井綾太・機電3年)の学生が中心となり、新習志野キャンパスで地域の小学生を招いた工作・実験イベント「CIT CRAFT」が開催された。当日は小学生64名と保護者40名が参加し、学生スタッフ66名とともに、にぎやかな交流のひとつを過ごした。

本イベントは、工作や実験を通じて小学生にものづくりの楽しさを体験してもらうと

ともに、地域の方々とのつながりを深めることを目的としている。また、学生自身が地域貢献や教育活動に関心を高めるきっかけにもなった。プログラムは「色の実験」「ハンディファン制作」「輪ゴムカー制作」など多彩な内容で構成された。色の実験ではRGBとCMYの違いを学び、光や絵の具を使った色の合成を体験した。工作では、モーターの代わりに輪ゴムを動力とした車や

ハンディファンを作り、身近な道具を通して原理を考える力を養う工夫がなされた。最後にはレクリエーションを通じて交流を深め、笑顔あふれる一日となった。

企画責任者の吉本稜葵さん(高度2年)は「自分が小学生の時に自由研究に悩んだ経験から、子どもたちに新しい発見のチャンスを届けたかった」と語る。準備段階では習志野市内の小学校へ直接連絡し、ポスターやチラシを配布。定員70名がわずかに1週間で埋まるなど、地域の関心の高さも示された。運営面での課題もあったが、子どもたちや地域の方々との触れ合いの中で多くの学びを得る機会となった。

今回の経験を通して、吉本さんは「結果だけでなくプロセスを大切にしたい」と改めて実感。また「将来、子どもや教育に携わる仕事に就きたい」という進路意識にもつながったという。学友会執行委員会では、11月22日(土)・23日(日)に開催する「津田沼祭」に向けて準備を進めており、今後も学生同士や地域との交流を広げる活動を続けていく予定だ。



オリジナルカーを発射!上手に動くかな?

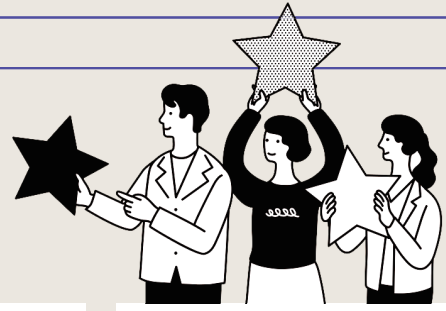
学友会
執行委員会
WEBサイト



津田沼祭
WEBサイト



受賞おめでとうございます！



授与団体・受賞名称

地域創生・社会課題解決
AIプログラミングコンテスト
2025 名古屋大会
「最優秀賞」

“もしも”のための、
“いつも”の贈り物。～大切な
人へ健康を贈る『GIFT』～

おおaura そら
大浦 空 さん

知能メディア工学科
3年

今野将研究室

受賞日
8月19日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

マイクロビームアナリシス
技術部会
第21回研究会
「優秀ポスター賞」

光電気化学反応の
異方性評価に資する
電気化学プローブ解析

たちざき えいた
立崎 瑛太 さん

電気電子工学科
4年

熊谷明哉研究室

受賞日
8月22日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

プロジェクトマネジメント学会
2025年度秋季研究発表大会・
学生研究発表賞
「優秀賞」

就職活動のプロジェクト
マネジメント：計画駆動型と
変化適応型の比較分析

しばはら ゆう
柴原 優 さん

経営情報科学科
4年

新谷幸弘研究室

受賞日
8月28日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

第24回
情報科学技術フォーラム
「FIT奨励賞」

SPAR3Dを用いた
Image-to-3Dによる
データ拡張を用いた物体検出

ふじの ともし
藤野 朋志 さん

未来ロボティクス専攻
修士2年

大川茂樹研究室

受賞日
9月3日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

第24回
情報科学技術フォーラム
「FIT奨励賞」

モバイルアプリケーション上で
動作する構音障害者向け
音声認識の検討

やまもと けんしん
山本 堅心 さん

情報科学専攻
修士2年

中村直人研究室

受賞日
9月5日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

第37回日本マイクログラビティ
応用学会学術講演会
毛利ポスターセッション
「奨励賞」

Fe二元系合金融体の
表面張力に対する
温度・組成・酸素の影響

おかだ りゅうせい
岡田 竜征 さん

先端材料工学科
4年

小澤俊平研究室

受賞日
9月12日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

日本音響学会
第153回研究発表会
「学生優秀発表賞」

咬み合わせ治療による
発声改善における
母音特徴の分析

たけだ りくほ
武田 陸歩 さん

未来ロボティクス学科卒業生
(2025年3月卒業、在学中の業績)

大川茂樹研究室

受賞日
9月11日

詳細は
コチラ ▶▶▶



授与団体・受賞名称

日本信頼性学会
「優秀記事コラム賞」

IoT開発における
アジャイル手法の
信頼性への影響

しんたに ゆきひろ
新谷 幸弘 教授

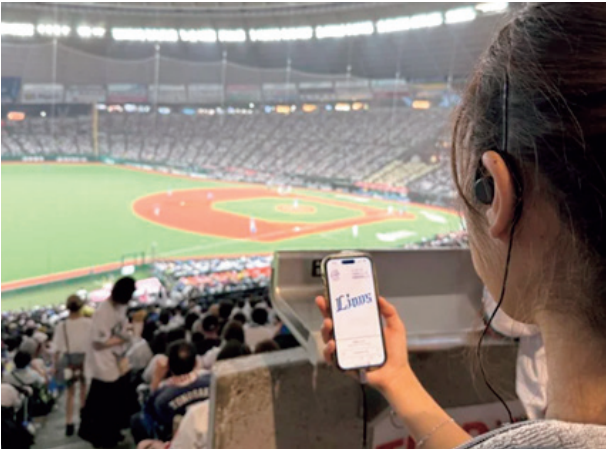
未来変革科学部
経営デザイン科学科

受賞日
5月20日

詳細は
コチラ ▶▶▶



飯田研究室の技術、音響XR実証実験に採用



写真：(株)NTT EXCパートナー提供

知能メディア工学科・飯田一博教授の研究室で開発された「パラメトリック・ノッチ・ピークHRTFモデル」が、NTT ExCパートナーの音響XR※技

術としてNTTドコモビジネス株式会社(旧NTTコミュニケーションズ)と株式会社西武ライオンズが実施した音響XRを活用した新しい野球観戦の実証実験に活用された。

この実証実験は、6月28日(土)18時より、ベルーナドームで行われたプロ野球一軍公式戦において実施され、試合の3回表から7回裏終了まで配信が行われた。観客

が臨場感のある音響体験を得られるよう、音の方向性を制御する技術が導入され、その中核となるのが飯田研究室による「パラメトリック・ノッチ・ピークHRTFモデル」だ。同モデルは、人間が音の方向を知覚する仕組みを数理的に表現したもので、長年の研究の成果に基づくものである。

今回の取り組みは、スポーツ観戦における新たな体験価値を生み出すものであり、同研究室

の研究成果が社会実装の場で活用された好例といえる。今後もエンターテインメントをはじめ多様な分野への応用が期待される。

※音響XRとは、NTTコンピュータ&データサイエンス研究所で研究開発を行っている、リアル空間の音と耳元の音響デバイスから再生されるバーチャル空間の音を融合する音響技術。音の方向の制御には千葉工業大学飯田研究室が開発したパラメトリック・ノッチ・ピークHRTFモデルを利用。



飯田一博教授

就職・進路支援便り

学部4年生・修士2年生向け支援

①オンライン相談会

2026年卒業の就活中の学生が自由に相談できます。企業紹介、選考対策、自己分析など、希望に合わせて対応可能です。詳細は既に配信しているメールを確認するか、就職・進路支援部までお問合せください。完全予約制のため、以下予約フォームからご予約ください。

- ▶開催場所：オンライン限定(ZOOM又はTeams)
- ▶服装：自由
- ▶就職・進路相談オンライン(26卒限定)予約フォーム <https://vivit.video/f/57/it-chiba>

②就活支援セミナー(オンライン)

今から就活をスタート(リスタート)する学生向けのオンラインセミナーを実施します。企業選択から選考対策までを、まとめて対策できます。

- 企業選択の軸発見ワーク
- 履歴書・ES書き方/面接対策編

③企業マッチングセミナー(オンライン)

- スキル不問!IT企業マッチングセミナー
- 千葉県勤務可能企業特集
- 初任給25万円以上の技術職(SE・設計・生産技術・セールスエンジニアなど)セミナー

※参加企業数5社前後、当日面談した企業と学生のお互いがマッチングした場合、スピード選考に進めます。

全学年向け支援

10月に続き、学内限定の「業界・職種・企業理解セミナー」を実施します。千葉工大生の採用を検討している大手企業が参加し、業界や職種・キャリアパス・卒業生の仕事内容などを、千葉工大生向けにお話していただきます。特に学部3年生と修士1年生は、今後のイベントや採用につながる情報も収集できるので、積極的に参加し、今後に活かしてください。

また、後期も大手優良企業が参加する「オープン・カンパニー」も実施します。いずれも就職システムで随時情報を更新しますので、ご確認ください。

業界・職種・企業理解セミナー

日 程		参加予定企業
11/13(木)	理解	アルファシステムズ、東日本旅客鉄道、日野自動車
11/15(土)	OC	アルプスアルパイン、三菱製鋼、東京エレクトロニクス、Sky、イビデン、東洋紡、能美防災、関電工、三菱マテリアル、クロスキャット ほか
11/20(木)	理解	日産自動車、山崎製パン、古河電気工業
11/27(木)		日本製鉄、沖電気工業、王子マテリア
予 約	就職システムの支援行事予約	

★各企業詳細や実施場所・時間等は、就職システムおよびメール配信をご確認ください。企業が追加となる場合も、上記方法にて周知します。

★11/15(土)のみオンライン実施、その他日程は津田沼キャンパスの対面実施。私服でご参加ください。

OC：オープン・カンパニー(午前・午後で企業入れ替え)

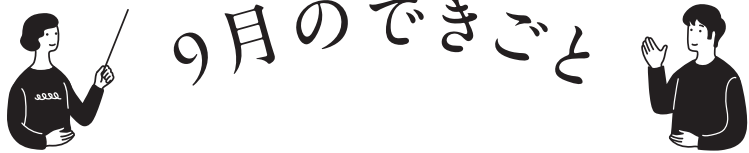
理解：業界・職種・企業理解セミナー(午後のみ1社ずつ実施)

学部3年生・修士1年生向け支援

後期以降、就職支援のための各種講座およびイベントが順次開催されています。詳細は、後期ガイダンスで配布の資料および就職システムにて確認してください。

また、カウンセラーとの個別相談や、内定を獲得したばかりの先輩に相談できる「学生アドバイザー」の利用も可能ですので、就職システムから個人面談予約をご利用ください。

各行事とも、未定部分は確定次第メール配信等でお知らせいたします。参加予約は、就職システム⇒支援行事の参加予約からお願いします。



- 9月2日 ○ 山梨大学とのIR合同研修会
- 9月6日・9月7日 ○ PPA地区懇談会(全国会場)
- 9月9日 ○ 出前授業(香取中学校)
- 9月12日 ○ 秋季学位記授与式
- 9月12日 ○ 秋季入学式
- 9月12日 ○ 産学連携協議会総会
- 9月13日・9月14日 ○ PPA地区懇談会(全国会場)
- 9月15日 ○ BOTAN打ち上げ成功!
- 9月16日～9月22日 ○ トルコ共和国にて新発掘調査開始
- 9月18日 ○ 後期ガイダンス
- 9月18日 ○ 防火・防災訓練
- 9月27日 ○ 千葉市未来の科学者育成プログラム
- 9月27日 ○ 西武台千葉高等学校模擬授業
- 9月28日 ○ PPA地区懇談会(津田沼会場)

11月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
						1
文化の日 月曜日授業実施日						
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
推薦型選抜(指定校)			大学祭準備(休講)			
16	17	18	19	20	21	22
大学祭	振替休日、大学祭片付					大学祭
23	24	25	26	27	28	29
推薦型選抜・特別選抜・編入型選抜						
30						

お詫びと
訂正

Chiba Tech News 7月・8月合併号において、
下記のとおり誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。
1面 「AGI研究センター」設立へ
センターの略称『ARC』を、『AGI-RC』へ訂正。

実験動物慰霊祭を実施



10月2日(木)、本学5号館6階大会議室において「実験動物慰霊祭」が執り行われた。本学では、教育・研究の一環として実験に協力した動物の尊い命に感謝を捧げるため、毎年この時期に慰霊祭を実施している。当日は、伊藤穰一学長、学長補佐の柴田裕史教授(応化)、動物実験委員会委員長の村上和仁教授(生命)、研究者倫理委員会委員長の

新習志野キャンパスで 寮祭「Mix」開催

多彩な交流とにぎわいの一日

10月5日(日)、新習志野キャンパス12号館前広場で寮祭が開催された。今年のテーマとして掲げた「Mix」は、学科や学年、出身地、価値観の異なる学生が集まり、日々の生活をともにする寮ならではの多様性を表したものだ。寮生をはじめ、留学生や学外の学生、OB・OG、地域の方々まで幅広い層が参加し、世代や立場を越えた交流が生まれた。

開会式を皮切りに、屋外・屋内の2ステージではバンド演奏やダンス、お笑いライブなど多彩なパフォーマンスが繰り広げられた。神田外語大学の学生によるダンスも披露されるなど、まさにテーマ「Mix」を体現したステージとなった。今年は出店数・ステージ発表数ともに過去最多を記録。来場者数は973名、参加者総数は1,300名を超え、コロナ明けの再開3年目にして大きな盛り上がりを見せた。

寮祭は大学祭と異なり、実施日に撤収完了など独自の苦労もあるが、寮生たちは限られた準備期間のなかで協力し合い、円滑な運営を実現した。

寮祭実行委員長の向井瑛志さん(第65代寮友会会長・デザイン科学科3年)は、「今年は過



新旧寮友会会長(左)向井さん、(右)森戸さん

去最多の出店数や初の2ステージ制導入、留学生による出店など、多くの新しい試みに挑戦しました。困難もありましたが、学生寮全体が一体となって盛り上がり、過去最多の来場者数を記録できたことに大きな達成感を感じています」と話している。また、前任の森戸憲心さん(プロジェクトマネジメント学科4年)は、「前々回・前回の経験を活かし、出店・ステージ団体との打ち合わせを徹底するなど準備を重ねました。特に入場ゲートや会場装飾には力を入れ、テーマ『Mix』を表現できたことを誇りに思います」と振り返った。



本場・伝統の味「モモ」(ネパールの国民食)を振舞った留学生チーム

最後を締めくくる大抽選会では、多くの来場者が笑顔を見せるなど、終始にぎやかな雰囲気にも包まれ、学生寮の温かさと活気、そして人と人とのつながりを感じることができた一日となった。